

令和4年2月18日

仙台市立折立中学校保護者・地域の皆様

仙台市立折立中学校
校長 村上 秀樹

令和3年度協働型学校評価の結果・分析について（御礼とお知らせ）

向春の候、保護者の皆様にはますます御健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃から本校の教育活動への御理解と御協力を頂き、厚く感謝申し上げます。

さて、令和3年度協働型学校評価アンケートへの御協力に重ねて感謝申し上げます。

つきましては、今年度の協働型学校評価の結果・分析についてお知らせいたします。

今後とも、保護者の皆様や地域の皆様と共に、子供たちのより良い成長を目指して教育活動に取り組む所存でございます。引き続き変わらぬ御支援を賜りますようお願い申し上げます。

記

【 概 要 】

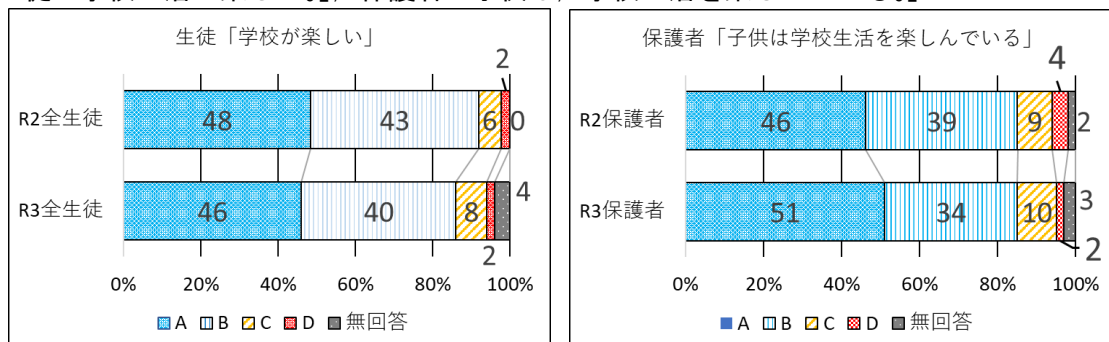
概ね肯定的な回答となりました。生徒「学校生活が楽しい。」、保護者「子供は、学校生活を楽しんでいる。」という項目については、昨年度と比較し、肯定的な回答の割合が、生徒についてはやや低下したものの、生徒と保護者ともに85%を超えました。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、多くの行事が例年と内容を変更しての実施となりましたが、ほとんどの生徒が活動に前向きに取り組み、学びを深め、目的やねらいを達成していたことがうかがえます。

また、生徒「授業に主体的に取り組んでいる。」という項目については、「そう思う」と回答した生徒の割合が39%と昨年度と比較して若干の増加が見られました。生徒の学習への意識の高まりを感じるとともに、積極的に取り組もうとする姿勢が見られました。家庭学習については、保護者の「子供は主体的に取り組んでいる。」と回答した割合が61%と、昨年度と同様の割合となりましたが、生徒は昨年度よりも7%下がりました。

今後とも一つ一つの教育活動の目的や経緯を、生徒、保護者、地域、教職員が皆で確認し、協力しながら、子供のより良い成長を目指していくことを大切にしていきたいと思えます。

【主な質問項目の結果】

（１）生徒「学校生活が楽しい。」、保護者「子供は、学校生活を楽しんでいる。」

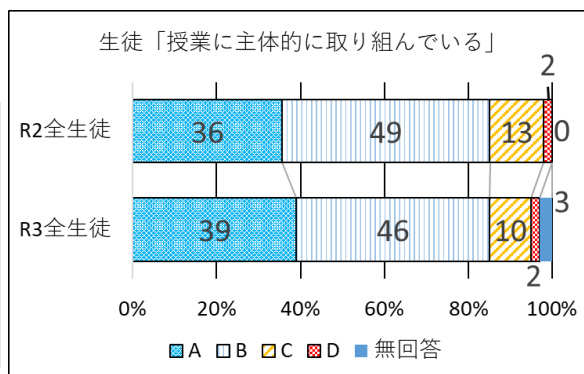


生徒が86%、保護者が85%と、肯定的な回答が高い割合を占めた。

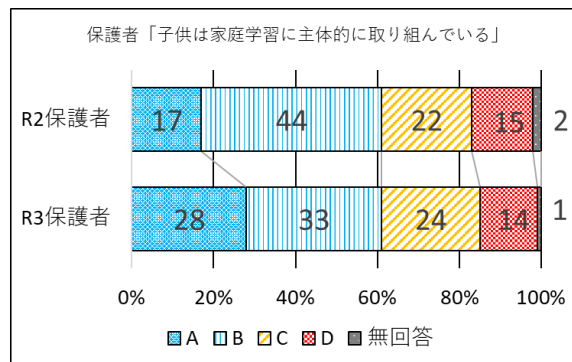
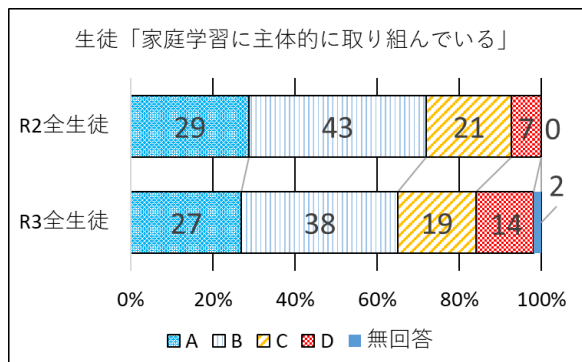
「授業に主体的に取り組んだ。」「校外学習等での自己の成長を実感した。」という項目でも、肯定的な回答をしている生徒の割合が高かった。

(2) 生徒「授業に主体的に取り組んでいる。」

肯定的な回答が85%と、昨年度と同等の高い割合となった。一方保護者「子供は学力を向上させている。」が56%と、肯定的な回答が多かったものの、「そう思わない」という保護者の回答の割合は43%と同様に高い割合を示していた。



(3) 生徒「家庭学習に主体的に取り組んでいる。」 保護者「子供（折中生）は、家庭学習に主体的に取り組んでいる。」



生徒の肯定的な回答の割合が65%であったが、昨年度よりも7%下がった。一方、保護者は61%が肯定的な回答であったが、38%が「そう思わない」という回答となっており、その割合は昨年度よりも若干高くなっている。生徒、保護者ともに家庭学習への取組についての課題意識は高いと言える。

(4) 生徒「地域に貢献している。」， 保護者・地域「子供（折中生）は、地域に貢献している。」

肯定的な回答は、生徒が47%、保護者が39%、地域が57%となり、昨年度よりも下回った評価となった。新型コロナウイルス感染症の影響で、今まで実施されている地域行事等が中止となり、保護者や地域の方々と関わる機会が減ったことが主な背景として挙げられる。

